

玄海地域原子力防災協議会（第1回）
議事要旨

1. 開催要領

開催日時：平成28年11月22日（火）12：30～13：40

場 所：三田共用会議所第4特別会議室

出席者：別紙のとおり

2. 議事次第

議題 「玄海地域の緊急時対応」の確認について

3. 配付資料

資料1 玄海地域原子力防災協議会の構成員について

資料2 玄海地域の緊急時対応（概要版）

資料3 玄海地域の緊急時対応（全体版）

4. 会議概要

○ 奥村内閣府地域原子力防災推進官から、資料2及び資料3に基づき、「玄海地域の緊急時対応」について説明を実施。

○ 平井内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、佐賀県、長崎県及び福岡県に対して、地元バス事業者や旅客船等の民間事業者との連携・協力の現状と今後の取り組みについて質問。

副島佐賀県副知事から、原子力災害時の輸送手段の確保について、佐賀県バス・タクシー協会の理解は得ており、バス手配の手順を含めた協定を早期に締結できるよう協議を進めている。また、佐賀県旅客船協会との間では協定を締結しており、先月の原子力防災訓練で、この協定に基づく船舶による避難訓練を実施し、今後も協力体制の充実に努めていく旨、回答。

西浦長崎県危機管理監から、原子力災害のほか風水害等を含めた災害時において、被災者・救援者等をバスによって緊急輸送するために、長崎県バス協会と協定締結に向けた協議を行っており、早期の締結を目指している旨、回答。

山崎福岡県副知事から、原子力災害時の緊急輸送について、内閣府現地支援チームの支援を受けバス協会等と協議を重ねており、今後も協定締結に向けて、内閣府の支援・協力をお願いしたい旨、回答。

○ 平井内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、佐賀県、長崎県、

福岡県に対して、離島における防護措置に関する取り組みと今後の予定について質問。

副島佐賀県副知事から、荒天等で船舶による避難ができない場合に備え、佐賀県のUPZ内全ての離島に放射線防護対策施設を整備するとともに、屋内退避に必要な物資や食料を備蓄し、離島における防護対策の充実を図っている旨、回答。

西浦長崎県危機管理監から、長崎県の9島の離島において、3島は放射線防護対策施設を整備し、3島は同施設整備の事業に着手している。残り3島については、早ければ今年度より整備可能な箇所から順次整備を進めていきたいと考えている旨、回答。

山崎福岡県副知事から、福岡県のUPZ内の離島である姫島では、時化等で船舶による避難ができない場合に備え、福祉センターに放射線防護対策を整備するとともに、食料等の備蓄物資も整備している旨、回答。

- 平井内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、佐賀県、長崎県、福岡県に対して、ゼリー状安定ヨウ素剤を含む安定ヨウ素剤の備蓄及び配布の現状と今後の予定について質問。

副島佐賀県副知事から、玄海町及び唐津市で安定ヨウ素剤の事前配布を実施しているが、使用期限切れとなることから、乳幼児向けのゼリー状の安定ヨウ素剤の事前配布も含め11月から改めて安定ヨウ素剤の事前配布会を実施している。また、住民避難に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、県内72箇所に安定ヨウ素剤を備蓄しており、乳幼児向けのゼリー状安定ヨウ素剤も、10月から備蓄を開始している旨、回答。

西浦長崎県危機管理監から、住民避難に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、県内78箇所に安定ヨウ素剤を備蓄している。また、PAZと同じタイミングで避難する松浦市鷹島地区においては、住民に対し事前配布をしている旨、回答。

山崎福岡県副知事から、UPZ内住民及び防災関係者用に安定ヨウ素剤を備蓄しており、配布や服用方法について、糸島市がガイドライン策定に向けて福岡県及び内閣府と協議している旨、回答。

- 平井内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、九州電力（株）に対して、福祉車両等の移動手段の確保、スクリーニングの要員や機材の提供、緊急時の活動に伴う汚染物等の処理、緊急時モニタリングに係るEMCへの参画、物資支援等について質問。

田代九州電力（株）上席執行役員から、福祉車両等の移動手段の確

保、要員や機材の提供、避難所への生活物資支援をはじめ、事業者に求められる対応について、しっかりと準備し、対応が必要になった場合には、原子力防災組織体制のもと、確実に対応していく旨、回答。

- 平井内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、実動組織関係4省庁に対して、不測の事態には、佐賀県、長崎県、福岡県、関係市町村からの要請により、各種支援を行っていくという理解でよいか質問。

鈴木警察庁警備局警備課特殊警備対策官から、住民の安全を最優先とし、必要な活動を適切に行う旨、回答。

滝消防庁予防課特殊災害室長から、関係県からの要請に応じ、緊急消防援助隊の派遣により、必要に応じ可能な範囲で支援を行う。緊急消防援助隊は市町村の組織であるため、市町村の理解が必要。派遣に当たっては、安全の確保に関する情報の提供をお願いしたい旨、回答。

金子海上保安庁総務部参事官から、自治体などからの要請に基づき、関係省庁と連携しつつ適切に対応していく旨、回答。

中尾防衛省統合幕僚監部参事官付総括班長から、知事からの災害派遣要請、原子力災害対策本部長である内閣総理大臣からの支援要請による原子力災害派遣の事態となった場合、自治体側のニーズを踏まえつつ、災害の状況に応じた態勢で支援活動に全力を尽くしていく旨、回答。

- 秋山唐津市総務部副部長から、住民への広報や理解促進等について質問。

田中内閣府参事官から、国としても重要であると認識しており、関係自治体とも連携しながら、住民への広報活動等について、国として予算措置等も含めしっかりと支援していく旨、回答。

- 友広松浦市長から、鷹島及び福島からの避難道路の整備について質問。

田中内閣府参事官から、円滑な住民避難が行えるよう総合的に対応することが重要であり、国として、関係省庁が連携して、しっかりと対応を検討していく旨、回答。

- 白川壱岐市長から、島内での30km圏外の安全確保や島外避難について質問。

田中内閣府参事官から、原子力災害対策重点区域の考え方は、原子力規制委員会がIAEAの国際基準や福島事故の教訓を踏まえて策定して

いる原子力災害対策指針に基づいている。予定されている避難先が確保できない場合は関係県が中心となりつつ国も含め、その他の避難先の確保をしていく旨、回答。

- 町田平戸市副市長から、住民への正しい知識の啓発の必要性について質問。

田中内閣府参事官から、国としても重要であると認識しており、関係自治体と連携して、正しい知識の啓発に取り組んでいく旨、回答。

- 平井内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、佐賀県、長崎県、福岡県に対して、緊急時対応に対する意見について質問。

副島佐賀県副知事から、災害対策はこれで終わりということではなく、より良い計画となるよう不断に見直す必要があると認識しており、関係省庁、福岡、長崎両県の支援をお願いしたい。住民避難の手段の確保について、高線量地区や離島からの避難等を実動省庁の支援をお願いしたい旨、発言。

西浦長崎県危機管理監から、原子力災害に対し最も必要なことは、住民に早く状況を知らせ、的確に避難していただくことと考えており、今後、協議会の皆様の見識を得ながら、防災計画を更に実効性あるものとしていきたい。避難経路となる道路、港湾等の整備に皆様の協力をお願いしたい旨、発言。

山崎福岡県副知事から、糸島市と共催で、佐賀県、長崎県と連携して原子力防災訓練に取り組んでいる。関係機関との連携や広域避難を実施し、結果を検証して、必要に応じて計画を改定している。今後は、訓練において「緊急時対応」を検証し、実効性を高めていくことが重要である。県計画の更なる充実強化を図るため、国の支援・協力をお願いしたい旨、発言。

- 本会議のまとめとして、平井内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、「玄海地域の緊急時対応」について、関係機関・関係者の対応が具体的であるとともに、原子力災害対策指針に照らし、具体的かつ合理的であることを確認した旨、発言。

また、本日確認した内容は、原子力防災会議に、内閣府から報告するとともに、今後、訓練を実施し、その結果を検証し、計画等の改善に繋げる出発点とする旨、発言。

(以 上)

出席者一覧

(別紙)

(構成員)

平井 興宣 内閣府政策統括官(原子力防災担当)
佐藤 暁 (代理出席) 原子力規制庁長官官房放射線防護グループ原子力災害対策・核物質防護課長
原 幸太郎 (代理出席) 内閣官房副長官補(事態対処・危機管理担当)付内閣参事官
緒方 俊則 内閣府大臣官房審議官(防災担当)
鈴木 基之 (代理出席) 警察庁警備局警備課特殊警備対策官
岩佐 哲也 (代理出席) 総務省大臣官房総務課参事官
滝 明 (代理出席) 消防庁予防課特殊災害室長
岡村 直子 (代理出席) 文部科学省研究開発局原子力課長
佐原 康之 (代理出席) 厚生労働省大臣官房厚生科学課長
塩川 白良 農林水産省危機管理・政策評価審議官
小澤 典明 経済産業省資源エネルギー庁資源エネルギー政策統括調整官
鈴木 淳一郎 (代理出席) 国土交通省大臣官房参事官(運輸安全防災)付対策官
金子 英幸 海上保安庁総務部参事官(警備救難部担当)
江口 博行 (代理出席) 環境省水・大気環境局総務課長
中尾 京一 (代理出席) 防衛省統合幕僚監部参事官付総括班長
副島 良彦 佐賀県副知事
西浦 泰治 (代理出席) 長崎県危機管理監
山崎 建典 福岡県副知事

(オブザーバー)

岸本 英雄 玄海町長
秋山 剛輝 (代理出席) 唐津市総務部副部長
江頭 興宣 (代理出席) 伊万里市副市長
友広 郁洋 松浦市長
佐々木 謙一 (代理出席) 佐世保市防災危機管理局長
町田 和正 (代理出席) 平戸市副市長
白川 博一 壱岐市長
谷口 俊弘 (代理出席) 糸島市副市長
田代 幸英 九州電力株式会社上席執行役員

(内閣府)

田中 邦典 内閣府政策統括官(原子力防災担当)付参事官(地域防災・訓練担当)
佐々木 雅人 内閣府政策統括官(原子力防災担当)付参事官
奥村 智之 内閣府政策統括官(原子力防災担当)付参事官(地域防災・訓練担当)付
地域原子力防災推進官